
ANA VISION 2006

第57期 第1四半期報告書

(2006年4月1日～ 2006年6月30日)

株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第57期第1四半期報告書「ANA VISION」をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当第1四半期においては、国内線運賃値上げを実施しましたが旅客数は前年同期比で2.3%増加し、反日デモ以降低調であった中国線の旅行需要の回復などにより国際旅客事業は好調に、貨物事業も堅調に推移致しました。

燃油費及び燃料税は、前年同期の400億円から498億円へと約25%増加しましたが、その他の費用の増加を最小限にとどめ、第1四半期としては過去最高の営業利益、純利益となりました。

今年度下期からは、成田 - シカゴ線を5年ぶりに再開します。また、貨物専用機では当社初の米国線を開設し、日中航空交渉の合意を受け、中国線についても旅客便・貨物便双方において充実を図ります。

今回は特集でCSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)を取り上げましたが、私たちANAグループは、航空輸送サービスもCSRであり、安全で快適な空の旅を提供し続けることが何より大切な社会への責務であると考えています。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜いますようお願い申し上げます。

2006年9月

代表取締役社長

山元 肇生



ANAグループのCSR

企業における非財務面での取り組みに近年内外の注目が高まっています。企業の社会的責任としては、事業活動における社会や地球環境に対する姿勢が企業評価のひとつとして定着しつつあります。そこで、ANAグループにおけるCSRの捉え方について、長瀬常務取締役執行役員にインタビューしました。

——航空運送事業を担うANAグループのCSRとは？

長瀬 ANAグループでは、年間でおよそ5,000万人のお客様にご搭乗いただいております。もはや航空運送事業は、地域間、あるいは国際間の交流に欠かすことのできない社会的基盤（インフラ）です。

確実で快適な運航を続け皆様からの信頼に応えることが公共輸送機関としての社会的使命であり、ビジネス、文化、教育、観光など様々な分野での交流のお手伝いをする事で、より良い社会の実現に役立てればと思っております。ご高齢の方、おからだの不自由な方などどのようなお客様にも安心してご搭乗いただけるような配慮も忘れてはならないと考えております。

貨物の運送も公共輸送機関としての大きな役割です。高速物流を充実させることにより、新たな地域の活性化に寄与していけると考えています。

大規模な自然災害が発生した時などの非常時においては、臨時便の運航、救援物資の輸送協力などを中心に、航空会社としての特性を最大限に活用した支援に取り組んでいます。



Interview

常務取締役 執行役員
CSR推進委員会委員長、地球環境委員会委員長、リスクマネジメント委員会委員長、コンプライアンス委員会委員長、広報室・総務部・法務部・環境・社会貢献部担当

長瀬 眞（ながせ じん）

・Profile

1950年生まれ。1972年ANA入社。2001年4月執行役員 秘書室長、2004年6月取締役執行役員 営業推進本部副本部長を経て2006年4月より現職。

これらの活動においては、常に安全なサービスの提供が大前提であり、これはすべてに優先するものであるという考えをグループ全員で共有しています。その決意の表明を「グループ安全理念」として明示しています。

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり、社会への責務である

私たちはお互いの理解と信頼のもと、
確かなしくみで安全を高めていきます

私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により、
安全を追求します

——どのような対象に焦点を当てた活動を行っていますか？

長瀬 当社にかかわりのあるステークホルダーは、お客様、株主・投資家、従業員、取引先、地域社会など様々です。これらすべてのステークホルダーに対する責任を果たしていくというのがANAグループのCSR活動の基本であり、それを実践しています。

——株主やお客様の声を事業活動に生かす仕組みは？

長瀬 株主の皆様をはじめ、私どもの事業にかかわるすべての方々とのコミュニケーションを大事にしたいと思っております。それぞれの声を誠実に受け止め、応える努力を継続することにより社会における役割を見出し、企業価値の向上に努めていきたいと考えています。

特に毎年数万件にもおよぶ株主の方やお客様からのご意見はデータベースに蓄積、分析し、商品やサービスの企画および課題の解決に活用する仕組みが構築されています。

——環境へのかかわりもCSR活動に欠かすことができないと思いますが

長瀬 事業活動が地球環境に与える影響も考慮し、長期的な視野で事業が持続できるよう環境への負荷の削減にあらゆる面から取り組んでいます。天然資源と



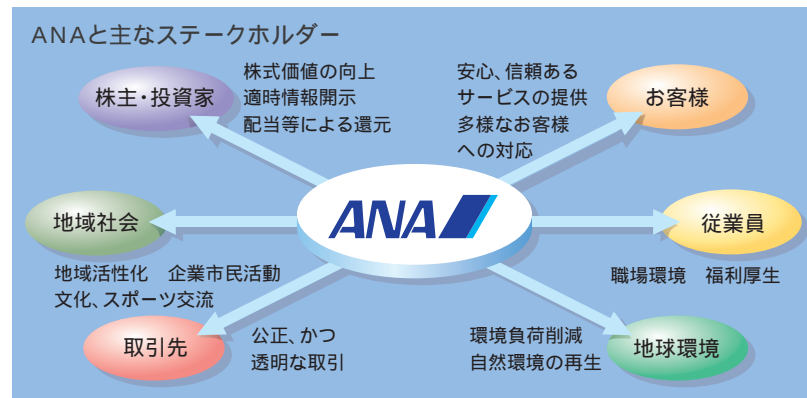
ボーイング787型機

清浄な大気に大きく依存している現在の航空機の運航を続けるためには、地球環境との共生を目指すことは大変重要です。燃料の消費が少ない最新鋭のボーイング787型機を積極的に導入するなどANAグループは、地球環境とともに、航空運送事業が持続可能な社会を目指しています。

——地域社会とのかかわりの中で取り組むCSRについて教えてください。

長瀬 各グループ会社・支店で、地元根付いた様々な活動が行われています。全社的な活動の一例としては、毎年、全国の病院に入院されている方々に、社員手作りのすずらんの『押し花のしおり』をお届けする「すずらん行事」等があります。

また、今後の社会を担う若者に対して、航空事業や観光業に



関連する大学講座への社員講師の派遣や、小・中学生向けの「航空教室」を通じて航空機の基礎への理解を深める場を提供しています。そのほかにも、航空機の整備工場見学を通じて、すべての方に事業活動を理解いただける機会を設けています。

——CSR活動のための社内の体制は？

長瀬 CSR推進委員会を2005年に社長統括のもとに設置し、私が委員長として、委員を務める関連部門の役員とともに活動を推進しています。本業を通じた社会への貢献が基本であるということから特別に専門の執行組織を設けず、CSR推進委員会で決定した方針に基づき、各部署がそれぞれの役割を果たしています。

社員一人ひとりが、「グループ経営理念」を実現するためのガイドラインである「グループ行動基準」の遵守を基本とする行動を通じて、ANAグループのCSRを実践しています。

——今後の取り組みについてはいかがでしょう？

長瀬 持続的な社会との共生を目指す企業として、誠実な姿勢で継続して事業に励んでいきたいと思っています。あらためてCSRとして、特別な活動で着飾るのではなく、すべての活動への「誠実」な取り組みを着実に行うことが企業価値の向上につながり、ひいてはステークホルダーの皆様の期待に応えられると考えています。

こうしたANAグループのCSRへの取り組みを「CSRレポート」(右ページ参照)に取り纏め、2005年より発行しています。

地域社会とのかかわり **今年もしあわせの花『すずらん』を患者の皆様へ！**

～心を込めて作成した『押し花のしおり』にアーティスト 青窈さんの詩を添えて～

6月9日、ANAグループの客室乗務員や各空港の地上スタッフが日本赤十字医療センターをはじめ、全国52か所の病院などを訪問し、入院されている患者の皆様へ北海道千歳空港近郊のすずらんの『押し花のしおり』1万8,000枚をお届けしました。

白く可憐な花『すずらん』のプレゼントは、1956年から続けているもので、「しあわせ」・「幸福の再来」などの花言葉をもつ『すずらん』



に永く美しい生命を与え、永久に咲きつづけるよう、日本レミコ押し花学院(東京都新宿区 近藤レミ子学院長)の協力のもと、社員がボランティア活動により、一つひとつ心を込めて『押し花のしおり』としてお届けしています。

今後も患者の方々にお喜びいただける限り、ささやかな社会貢献活動として『すずらん行事』を続けてまいります。



地域社会とのかかわり **「西多賀養護学校の皆さん、大空へようこそ！」**

～空を愛したひとりの機長と空に夢を描いた子どもたちの交流が43年の歳月を経て再現～

今から48年前の1958年4月、仙台空港近くの国立玉浦療養所(宮城県立西多賀養護学校の前身、当時「ベッドスクール」と呼ばれていた)に一羽の伝書鳩が迷い込みました。足輪からその鳩は東京の飼い主のものと判りました。



1963年4月29日遊覧飛行での麻田機長と子どもたち

子どもたちから「この伝書鳩を飛行機に乗せて東京に帰してあげて」と頼まれたことをきっかけに当社の麻田機長(当時)とベッドスクールの生徒たちとの交流が始まりました。

交流を重ねるうち、「寝たきりの生徒たちに療養所を空から見せてやりたい!」

麻田機長の強い思いが5年の月日を経て会社を動かし1963年4月29日、50人の生徒たちを2組に分けて仙台上空遊覧飛行が実現しました。

「あつ、僕らの学校だ!」

「仙台の街があんな小さく見える」

ふだん病室の窓から四角い空を眺めていた生徒たちは、大空を自由に飛びまわり大喜び。上空では歓声が途絶えることはなかったようです。その後麻田機長は当社初のジェット旅客機の訓練で渡米しましたが病に倒れ1967年9月逝去し、この遊覧飛行の記録も時の経過とともに当社から消えてしまいました。

2005年3月、西多賀養護学校の方が同校創立50周年誌編纂中のところ、古いスクラップから当時の新聞記事を発見、当社へ1963年に行われた遊覧飛行についてお問い合わせをいただきました。

当社ではあらためて社内調査を行うとともに故麻田機長の奥様のお話をお伺いしたところ遊覧飛行の様子が判明、「ぜひもう一度、故麻田機長の遺志を継いで生徒たちのために特別フライトを実現させたい!」という声が社内に高まり、ボランティアで参加した当社グループ社員100名により『麻田'Sメモリアルフライト』の企画が43年ぶりに実現しました。

麻田'Sメモリアルフライト

2006年4月21日、西多賀養護学校の子どもの夢を乗せた飛行機が仙台空港を離陸。当日は43年前と同様に生徒たちは2便に分かれ、仙台から山形上空を旋回する約50分間の空の旅を楽しみました。

当初は緊張気味だった子どもたちの表情も雲の合間から見える眼下の景色を見るうちに緩み、機内には歓声が溢れてきました。出発ゲートでは当社グループのボランティアスタッフが準備した折り紙コーナー等のイベントエリアで、搭乗前後の時間も楽しんでいただきました。

当日はかつての遊覧飛行を実現した故麻田機長の奥様や、交流のきっかけとなった養護学校OBの方にも参加いただきました。



2006年4月21日遊覧飛行を楽しんだ宮城県立西多賀養護学校の生徒さん

このフライトに関する内容は宮城県立西多賀養護学校のホームページで紹介されています。
<http://www.nishitaga.myswan.ne.jp/>

ご案内

『CSRレポート2006』9月末発行予定

『CSRレポート』全文は、
<http://www.ana.co.jp/ana-info/ana/csr/index.html>
からご請求、またはご覧いただけます。

(表紙は2005年版です)

今後も「あんしん、あったか、あかるく元気!」をスローガンに地域社会に根ざした活動を行ってまいります。

ご参照

過去ANA VISIONのCSR関連特集
http://www.ana.co.jp/ir/kabu_info/ana_vision/index.html
2004年6月第54期事業報告書 『感動品質』
2004年9月第55期第1四半期報告書 『環境経営』
2005年9月第56期第1四半期報告書 『安全がすべてに優先する』

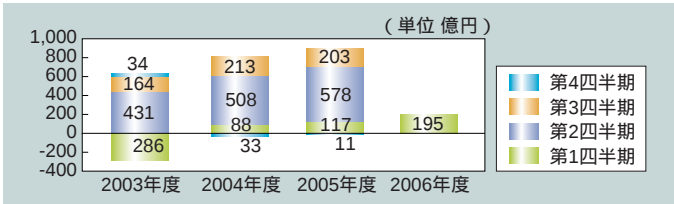
ANAグループ(連結)

本文中の記載金額、数量は表示単位未満の端数を切り捨てております。

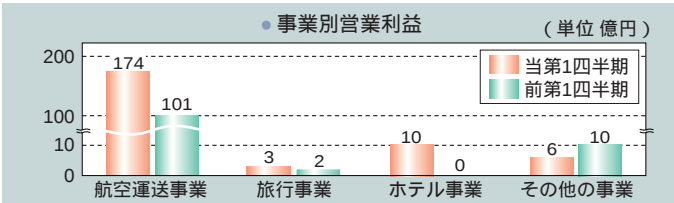
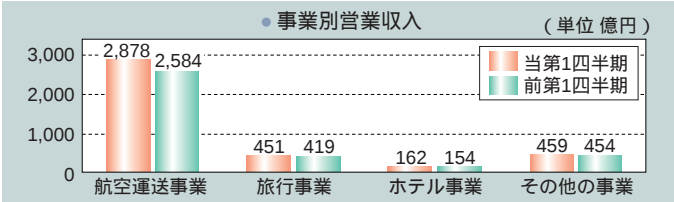
■ 第1四半期の概況

- 景気回復を背景に旅客需要が堅調に推移し、国内線、国際線ともに増収となり、主力の航空運送事業は増益となりました。
- 航空以外のセグメントにおいても引き続き全セグメントで黒字を達成することができました。
- 燃油価格の高騰により燃油費用は増加しましたが、適切な機材投入をすすめるとともに諸費用の抑制に努めた結果、営業利益は195億円、経常利益は144億円、当期純利益は76億円の黒字となりました。

■ 営業利益の推移



■ セグメント情報



(注)上記事業別営業収入および営業利益には事業区分(セグメント)間の取引額が含まれています。

■ バランスシート

- 資産の部は、航空機の取得等により有形固定資産が増加しましたが、現預金が減少し、総資産は350億円減少しました
- 負債の部は、主に社債の償還により有利子負債が290億円減少し、負債合計では658億円減少しました
- 純資産の部は当期純利益の計上、配当金の支払いの結果、利益剰余金が18億円増加したほか、「繰延ヘッジ損益」が「評価・換算差額等」として純資産の部に組み入れられたこと等から、自己資本比率は23.1%になりました

連結損益計算書

(単位:億円)

	当第1四半期 (2006年4月1日から 2006年6月30日まで)	前第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)
営業収入	3,452	3,123
営業費用	3,256	3,005
営業利益	195	117
営業外収益	17	20
営業外費用	68	75
経常利益	144	62
特別利益	0	0
特別損失	10	24
税金等調整前当期純利益	134	38
税金費用	56	18
少数株主損益	1	2
当期純利益	76	21

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	当第1四半期 (2006年4月1日から 2006年6月30日まで)	前第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	173	22
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	498	9
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	349	356
4. 現金及び現金同等物の換算差額	0	2
5. 現金及び現金同等物増減額	675	322
6. 現金及び現金同等物の期末残高	1,752	1,310

連結貸借対照表

(単位:億円)

	当第1四半期 (2006年6月30日現在)	前期 (2006年3月31日現在)		当第1四半期 (2006年6月30日現在)	前期 (2006年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	4,719	5,303	流動負債	4,625	4,808
固定資産	11,589	11,354	固定負債	7,850	8,325
繰延資産	8	10	負債合計	12,475	13,134
			少数株主持分	—	71
			資本の部		
			資本金	—	1,600
			資本剰余金	—	1,256
			利益剰余金	—	526
			その他	—	80
			資本合計	—	3,463
			純資産の部*		
			株主資本		
			資本金	1,600	—
			資本剰余金	1,256	—
			利益剰余金	545	—
			自己株式	10	—
			評価・換算差額等	379	—
			少数株主持分	71	—
			純資産合計	3,842	—
資産合計	16,317	16,668	負債・純資産合計	16,317	16,668

*当第1四半期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しております。

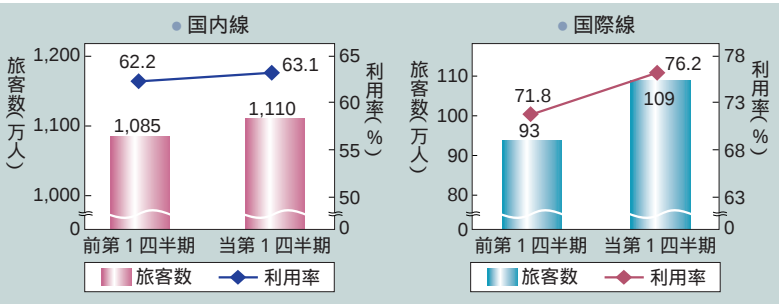
■ キャッシュ・フロー

- 税金等調整前当期純利益の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは173億円となりました
- 航空機の取得による支出等により、投資活動によるキャッシュ・フローは498億円の支出となりました
- 借入金の調達・返済や社債の償還などにより、財務活動によるキャッシュ・フローは349億円の支出となりました

国内線・国際線動向

■ 国内線旅客

- 前年の愛・地球博の反動減や競合他社の路線参入に対処すべく、新運賃「旅割」を導入したほか、ボーイング767型機への「スーパーシート・プレミアム」設置、拡大など、他社との差別化による需要喚起策を推進
 - スカイネットアジア航空とのコードシェアの開始や需要に応じた便数、機材投入等、顧客のニーズにより一層きめ細かく対応
- 羽田発着路線を中心に堅調に推移し、旅客数は前年同期比102%、利用率も約1ポイントアップして、前年同期比103億円の増収に



■ 国際線旅客

- 全方面にわたりビジネス需要が好調であったことに加え、中国への旅行需要も回復
 - 投入機材の需給適合やPROS(将来の需要予測から便収入の最大化を計算する座席管理システム)によるイルドマネジメントも奏功
- 旅客数は中国線が対前年同期比120%となったのをはじめ国際線全体で対前年同期比116%となり、利用率も4.4ポイントアップし前年同期比123億円の増収に

■ 貨物

- 国際国内ともに荷動きは活発であったが、国際貨物は価格競争が激化

- 前年同期比で国内貨物輸送量は106%、国際貨物輸送量は105%で、国内は2億円、国際は13億円の増収に

航空運送事業の売上高

(単位:億円)

		事業年度	当第1四半期 (2006年4月1日から 2006年6月30日まで)	前第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)	増 減
航空運送事業	国内線	旅客収入	1,673	1,570	103
		貨物収入	73	70	2
		郵便収入	21	18	3
		手荷物収入	0	0	0
		小計	1,769	1,660	109
	国際線	旅客収入	650	527	123
		貨物収入	138	124	13
		郵便収入	7	6	0
		手荷物収入	1	1	0
		小計	798	660	138
	航空事業収入合計		2,568	2,320	247
	その他の収入		310	264	46
	合計		2,878	2,584	293

(注)各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

輸送実績

		事業年度	当第1四半期 (2006年4月1日から 2006年6月30日まで)	前第1四半期 (2005年4月1日から 2005年6月30日まで)	前年同期比 (%)
国内線	旅客数(万人)		1,110	1,085	102.3
	座席キロ(座席キロ)*1		152	150	101.5
	旅客キロ(億人キロ)*2		96	93	102.9
	利用率(%)		63.1	62.2	+0.9
	貨物輸送量(千トン)		107	100	106.8
	貨物輸送量(百万トンキロ)		104	97	106.6
	郵便輸送量(千トン)		20	18	109.4
国際線	郵便輸送量(百万トンキロ)		22	20	110.6
	旅客数(万人)		109	93	116.2
	座席キロ(座席キロ)*1		64	62	104.0
	旅客キロ(億人キロ)*2		49	44	110.5
	利用率(%)		76.2	71.8	+4.4
	貨物輸送量(千トン)		61	57	106.8
	貨物輸送量(百万トンキロ)		282	266	105.8
	郵便輸送量(千トン)		3	3	108.5
	郵便輸送量(百万トンキロ)		16	14	112.0

(注)*1. 座席キロ:(座席数)×(運航キロメートル)
*2. 旅客キロ:(旅客数)×(運航キロメートル)
*3. 利用率:(旅客キロ)÷(座席キロ)
4. 国内線にはBEXエアラインズ㈱、北海道国際航空㈱およびスカイネットアジア航空㈱とのコードシェア便実績を含みます。
5. 国際線にはユナイテッド航空(成田～ニューヨーク線、関西～ホノルル線)およびエバー航空とのコードシェア便実績を含みます。
6. 国内線、国際線ともにチャーター便実績を除いております。
7. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。

第61回定時株主総会のご報告

2006年6月28日(水)午前10時5分より、東京全日空ホテル「プロミネンス」において、代表取締役社長山元峯生を議長として開催いたしました。当日出席された株主数は2,807名で、過去最多となりました。

2005年度のANAグループ連結業績をナレーションとスライドにて報告後、「利益処分案承認」「定款変更」「取締役15名選任」の3議案が上程され、質疑応答に移りました。11名の株主の方より、ご質問や貴重なご意見を承り、その後全議案が承認・可決され、11時59分に閉会いたしました。以下に出席された株主の方々との質疑応答の内容の一部をご報告申し上げます。



Q ポンバルディア機の不具合について、どのような対策を講じていますか？

A ポンバルディア機については運航トラブルが多発し、多くの方々にご迷惑、ご心配をおかけしており、心からお詫び申し上げます。

ポンバルディア機につきましては、「安全は経営の基盤であり、社会への責務である」という、当社の安全理念を改めて肝に銘じ、一斉点検の実施、メーカーであるボンバルディア社との連携など様々な対策を講じているほか、不具合が発生した際の影響を最小限にとどめるために、予備機を準備する等あらゆる安全対策に取り組んでまいり所存です。

Q ポンバルディア機の今後の導入計画は？

A ポンバルディア機は現在11機運航しており、確定発注をしておりますのは全部で14機でございます。今年度中にあと3機の受領を予定しております。

Q 燃油費高騰の具体的な影響額は？

A 2005年度の燃油費の総額は1,333億円で、2004年度に比べますと309億円程増加しております。当社が指標で使っているパイ原油価格が前年に比べ約46%値上がりしたことが主な増加要因です。今後も、より有効なヘッジを推進するとともに、燃料のより効率的な使用に努めるなどの対策を実施していきます。

Q ANAの弱点は何だと考えますか？

A 弱点を申し上げる前に当社の強みをPRさせていただきたいと思っております。他社に比べて当社が先行しているなどという点が3つございます。

ひとつはコスト構造改革。人件費については2003年度に基本給与、退職金そのほかを先行して引き下げました。

2番目は機材の更新。今年の3月にいわゆるジャンボ機(ボーイング747SR)がANAグループからは完全にリタイアする一方で、2年後には現在のボーイング767型機の後継機として燃費効率が20%良いといわれるボーイング787型機を合計50機導入します。機材更新について積極的に取り組んでいることは強みだと思っております。

3点目がスターアライアンス。99年度に加入し、コードシェアによる路線展開やラウンジ、カウンター等の共用化、あるいは燃油の共同購入等の面でコスト削減に努めてきました。

弱点でございますが、営業活動で生み出した利益が今のところはそのまま最終利益につながらないという構造があります。様々な理由で特別損益において計上しなくてはならない項目がまだ残っています。

これにつきましても、全日空ビルディング(株)の商業ビル部門を売却したほか、ホテル事業につきましても、なるべく自らで設備投資をしなくてすむような事業形態を目指し、ほぼ営業で得た利益が最終利益までつながる構造となるよう改革を進めております。

Q 敵対的買収に対する対策は？

A 一番有効な買収防衛策は揺るがない利益成長を続けることで、永続的に企業価値、株主価値を高めていくこと、これに尽きると思います。

新株予約権の発行ははじめ敵対的買収に遭遇した際の様々な買収防衛策が議論されており、研究は常々していますがまだ正当性や有効性に議論の余地が残っていると考えておりますので、早急に防衛策を導入するということには至っておりません。

揺るぎなき営業努力あるいは利益成長を続けることでつけ入る隙を与えないようにすることが一番だと思っております。

Q 株主優待の割引率を拡大できませんか？

A 50%以上の割引がご希望だということは承知しておりますが、これ以上の割引は難しいと考えております。株主優待は、どの国内路線でも利用できるほか、予約変更ができ、利用不可期間もなく、普通運賃と同様、利便性の高い運賃でございますので何卒、この割引率につきましてはご理解を賜りたいと思っております。

Q 他社との差別化をどう考えているのですか？

A 「ANAならではの」という評価を得ることは大きな課題であり、重要なミッションであると認識しております。機内におきましてはハード面、ソフト面両方のサービスがあり、ハード面に関しては機内の居住空間、シート、機内食等々があり、お客様が当社を選ぶ大きなツールでございます。

その点に関しましては、いかにお客様に良い空間を提供するか、

おいしいものをご提供するか、ということについて今後も大いに研究し、お客様に満足していただくものをご提供していくことを常に考えていかなければなりません。

ただ、ハード面に関しましては、いずれ他社と似通ってまいります。では何で差をつけていかないと、ソフト面つまり、客室乗務員の資質だと考えています。客室乗務員の品質を上げることが、大きなミッションであります。お客様がお乗りになって予想した以上、予測を超えるサービスだと感じていただくようなサービスをご提供するために様々なことに取り組

んでいき、そして結果的に「ああANAって良い会社だな」「乗って本当に快適だったな」と思っていていただく瞬間をたくさん作ってきたいと思っております。

“あんしん、あったか、あかるく元気”を機内で具現化できる客室乗務員の育成、これに力を入れていきたいと思っております。

以上のほか、「介護割引運賃の導入」、「スーパーシートプレミアム運賃について」、「株主懇談会の実施」等のご意見をいただきました。今後、頂戴したご意見等を踏まえ、検討、改善等に取り組んでまいり所存でございますので引き続きのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

株主総会当日は受付が大変混雑し、ご出席の株主の方には大変ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

スライドによる営業報告の一部



6月

成田空港第1ターミナル南ウイングオープン!(6/2)

第1ターミナルの南ウイングにANAをはじめスターアライアンスメンバー10社が集結。加盟会社間で、チェックインカウンターを共有化し、航空業界ではじめてのゾーン・チェックインを導入。



「なくせ、ヒューマンエラー」日本初 LOSAを導入!(6/29)

「安全は経営の基盤であり、社会への責務である」という当社安全理念に則り、運航部門において、運航乗務員の操縦室内でのヒューマンエラー(人的不安全要素)の予防措置としてLOSA(Line Operations Safety Audit:日常運航便の安全モニタープログラム)の導入を決定。

7月

ANAと楽天は、新会社「楽天ANAトラベルオンライン(株)」を設立決定(7/12)

新会社は、航空券をANA、宿泊施設などを楽天トラベル(株)およびANAセールス(株)から調達し、「ANA楽パック」と称して、「楽天トラベル」(<http://travel.rakuten.co.jp/>)を通じ、本年10月より提供予定。

ボーイング747-400型機 6機の売却決定(7/12)

ボーイング747-400型機6機をアイランドのAVION社に売却することを決定。今後は経済性の高い新機種ボーイング737-700シリーズ、ボーイング787型機の導入でコスト競争力を強化。



携帯サイト「ANA SKY MOBILE」でネットショッピングが可能に(7/14)

携帯サイト「ANA SKY MOBILE」では、モバイルショッピングサービス「ANAショッピングastyle」を展開。ショッピングメニューの追加で、いつでもどこからでも気軽にお買い物が可能に。

ANA SKY MOBILE アクセス方法

iモード、EZweb、Vodafone live!の公式メニューより「飛行機」または「航空」のカテゴリから「ANA全日空」へアクセス!

8月

国際線の食器の共同企画を発表!(8/2)

ノリタケカンパニーリミテッド(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:赤羽昇)と共同でエコノミークラスの食器を企画開発。本年11月1日より、国際線全路線のエコノミークラスで使用予定。樹脂製ながら、陶磁器を感じさせる質感や触感が特徴。欧米線では従来よりゆとりをもったサイズの食器トレイでサービス予定。



欧米線エコノミークラス機内食は、1食目のトレイ(お盆)を(縦26cm×横26cm)から(縦26cm×横38cm)に。

パイロット派遣会社を共同出資により設立(8/17)

新会社「Crew Resources Worldwide, L. L. C. (略称:CRew)」の出資割合はHawaii Aviation Contract Services, Inc.34%、ANA33%、双日株式会社33%。

チェックイン不要! 新しい搭乗スタイル **Skip**

1 事前に「指定席予約決済」をお済ませください。
(予約・購入・座席指定)
予約の際にはANAマイレージクラブEddyカードのお客番号を登録してください。



チェックインを
Skip →

2 空港についたら搭乗手続きなしで保安検査場へ
保安検査場でANAマイレージクラブEddyカードを「スキップ専売」にかざすだけ。
搭乗ゲート番号の入った案内をお受け取りください。



3 出発時刻の10分前までに搭乗ゲートへ
ANAマイレージクラブEddyカードを搭乗ゲートの読み取り部にかざすだけ。



ご搭乗 → → → →

ANAマイレージクラブEddyカードをお持ちでなくても、さまざまなスタイルで簡単にご利用いただけます。



9月1日ご搭乗分 からSkipサービス開始!

株主優待券ご利用の場合はご予約後、ANAカウンターまたはANA取扱旅行会社等でご購入手続き、座席指定が必要となります。

*詳細はホームページ
<http://www.ana.co.jp>
にてご照会ください。

庄内

見どころ&味覚満載!
秋の庄内路

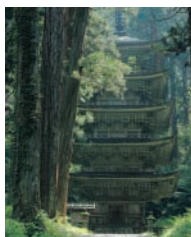
縦長の山形県のうち、日本海に面し、北に鳥海山、東に月山を望む地域が庄内エリア。古くから海運で栄え、文化的、歴史的な見どころもたっぷり。海の幸も山の幸もそして温泉も楽しめる、いざ庄内へ!



中世以降、修験道の間として白衣の行者たちで賑わった山岳信仰の霊山。随神門、国宝の五重塔を経て、山頂まで特別天然記念物の杉並木のある2446段の石段が通じている。



月山・羽黒山・湯殿山の三山の合祭殿



羽黒山にある国宝・五重塔。杉林に漂と建つ



どこまでも広がる庄内平野は農産物の宝庫



毎日14時から2階の大広間で華やかな舞を楽しめる



江戸時代より開業し、国の登録文化財に指定された料亭を修復。随所に料亭の面影をたどる楼内では、相馬樓酒田舞娘の踊りが楽しめる。

酒田市日吉町一丁目舞娘坂 TEL.0234(21)2310
HP: <http://www.somaro.net/>

華やかな舞で
豪商気分を体験
相馬樓 そまろ()



雛の蔵では
雛人形のコレクションを展示



歴史的な建築物と
庄内の文化を満喫
致道博物館(ちどうはくかん)

幕末に建てられた藩主の隠居所「御隠殿」の一部が残り、四季が美しい酒井氏庭園を観ながら抹茶をいただける。移築された洋風建築や古民家などには鑑賞することができる。

鶴岡市家中新町10-18
TEL.0235(22)1199
HP: <http://www7.ocn.ne.jp/~chido/>



明治14(1881)年建築の旧西田川郡役所。重要文化財



民家内には生活の中心だった大きないろり



ANAのフライト
東京～庄内(4往復)
千歳～庄内(1往復)

酒田市の山居倉庫。櫛の木は西日を遮り快適

庄内空港

酒田市と鶴岡市のほぼ中間に位置し、1991年10月開港。ターミナルビルは庄内米のやわらかい曲線をモチーフにデザインされている。





本間家の別荘を美術館として開放。四季折々に表情を変える庭園、鶴舞園も魅力的

酒田

豪商の気概と繁栄の歴史を今に伝える

「本間様には及びもないが、せめてなりたや殿様に」と謡われた日本一の大地主・本間家や北前船で栄えた湊町。「西の堺、東の酒田」といわれる繁栄をみせた。豪商の栄えた土地ならではの風物を楽しみたい。



旧本邸は武家屋敷の書院造と商家造が一体に

豪商が築いた文化を見る

本間美術館・本間家旧本邸

(ほんまびじゅつかん・ほんまけきゅうほんてい)

旧本邸は三代目光丘が幕府巡見使の本陣宿として建築し、庄内藩主酒井家に献上。その後拝領し居宅としたもの。美術館の本館と庭園は四代目光道が酒井候を迎えた別荘。

本間美術館 酒田市御成町7-7 TEL.0234(24)4311
HP: <http://www.homma-museum.or.jp/>
本間家旧本邸 酒田市二番町12-13 TEL.0234(22)3562
HP: <http://www2.ocn.ne.jp/~hommake/>

迫力たっぷりの土門ワールドに浸る

土門拳記念館(どもんけんきんかん)

酒田出身、「古寺巡礼」や「筑豊のこどもたち」などの名作で知られる、リアリズム写真を確立した写真界の巨匠。その故土門拳氏の全作品を収蔵し、保存をはかりながら順次公開している。

酒田市飯森山2-13(飯森山公園内) TEL.0234(31)0028
HP: <http://www.domonken-kinenkan.jp/>



2007年カレンダー

『大和路』

代表作「古寺巡礼」シリーズから大和路を厳選したカレンダーは、9月より発売予定1,700円



庄内の味を存分に味わえる料亭

香梅咲(かめざき)

江戸時代の安政年間(1854 ~ 60)創業、150年余の歴史をもつ老舗料亭。旬の山海の幸を取り入れた料理を堪能したい。

酒田市日吉町1-3-16
TEL.0234(23)3366
HP: <http://www6.ocn.ne.jp/~kamezaki/>



お昼のコース。写真は
¥3,000の例
出雲大社80代宮司
千家氏による扁額



即身仏と巖かに対面

海向寺(かいこうじ)

1150年前に開かれた古寺。
251年前の忠海上人、184
年前の円明海上人が即身
仏となり、祀られている。

酒田市日吉町2-7-12
TEL.0234(22)4264



即身仏堂で約20分の説明を受けながら拝観できる

今も現役の米の貯蔵庫

山居倉庫(さんきょそうこ)

明治26(1893)年に舟の積み下ろしに便利な最上川と新井田川に挟まれた現地に建てられた米穀倉庫。庄内米歴史資料館やお米ギャラリーもあり、米どころ庄内の歴史を実感できる。



当時の最高技術で作られた倉庫。現在も庄内米を保管する
検査風景や米俵かつぎの様子をほぼ等身大の人形で展示



NHKの連続テレビ小説「おしん」の舞台にもなった
酒田市山居町1-1-1
HP: <http://www.sakata-kankou.gr.jp/yumenokura/>

鶴岡

城下町のたたずまいが美しい

酒井家が居城とした鶴ヶ岡城跡

鶴岡公園(つるおかこうえん)

市の中心部に位置し、古い石垣や樹齢数百年の樹木が往時を偲ばせる。四季の花々が美しい。

大宝館は大正天皇即位を記念した洋館。館内では鶴岡出身者などの資料を展示



穀物米で作った穀物パン(上)
自慢の百けん濠ランチ(下)
鶴岡市馬場町14-2
TEL.0235(29)0888



水辺に建つレストランは学校関係者にももちろん、市民にも人気

体によいものに
こだわったメニュー
創作料理
水の食卓 百けん濠
慶応大学研究棟がある鶴岡
タシキヤンバス内のレストラン。
庄内浜の魚介類、羽黒産の山
伏ボーク、地野菜など地元のおいしくて安全な素材を使い、
シェフが腕をふるっている。

自学自習と個性を重んじた学舎

庄内藩校 致道館

(しょうないはんこう ちどうかん)

文化文(1805)年庄内藩九代藩主、酒井忠徳公が創設。講堂などが当時を偲ばせる。

鶴岡市馬場町11-45 TEL.0235(23)4672



10歳から30歳前後まで、多くの舎生が学んだ

クラゲに癒される静かな時間

加茂水族館(かもすいぞくかん)

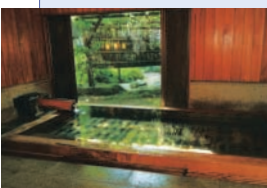
庄内浜に生息する魚や庄内に生息する淡水魚、世界一のクラゲの展示を誇る水族館。常時20種類以上のクラゲを展示している。ウミネコの餌付けやアシカのショーもある。

鶴岡市今泉字大久保656 TEL.0235(33)3036
HP: <http://webs.to/kamo-a>



パラオ・クリアレク産タコ
クラゲ属の一種。薄桃
色などのカサが印象的

ギヤマンクラゲ。カサから長々と伸びる何本もの触手が、水の中でゆらゆら揺れる



さりと肌なじみのよい湯。朝風呂も気持ちいい

鶴岡市湯田川乙38 TEL.0235(35)2200
HP: <http://www.kameya-net.com/yudono/>



入浴後は広いロビーのゆったりしたソファで、庭を眺めてのんびり

手足も心も、ゆったり
美食と湯の宿
湯の庵



羽黒山

羽黒山の山頂に至るおよそ2kmの参道の両側には樹齢300 ~ 600年の老木が茂る

遙かな歴史を仰ぐ

出羽三山神社 三神合祭殿

(でわさんざんじんじや さんじんごうさいでん)
月山、湯殿山、羽黒山の三神を合祀する社殿。萱葺木造建築物として日本最大級の国の重要文化財。

鶴岡市羽黒町手向字手向7
TEL.0235(62)2355(出羽三山神社社務所)
HP: <http://www.dewasanzan.jp/>



ここにお参りすると、三山をお参りしたことになるといわれている

だだちゃは鶴岡だけ!!

だだちゃ豆

ただちゃ豆と名乗って
いいのは鶴岡の枝豆だ
だけ。収穫は9月半ばまで!



豆の風味
たっぷり!



ビールに
最高!



だだちゃ = 父親のこと。
一番エライ(おいしい)豆が
だだちゃ豆!

株主優待のご案内

発行基準日※	発送日	ご搭乗優待	グループ優待
3月31日	5月下旬発送	株主優待券 有効期間6/1～翌年5/31	ANAグループ優待券上期分 有効期間6/1～11/30
9月30日	11月下旬発送	株主特別優待券 有効期間12/1～翌年5/31	ANAグループ優待券下期分 有効期間12/1～翌年5/31

国内線ご搭乗優待 「株主優待券」「株主特別優待券」

優待券1枚で、ANA国内営業全路線片道1区間を、ご搭乗時片道(普通)運賃(小児の場合は小児運賃)の50%割引でご利用になれます。

*スーパーシートプレミアムには、優待券のご利用で別途株主様向けの運賃がございます。

*ご予約、空席、運賃等に関しましては、国内線予約・案内センターまたは、ANA SKY WEB(www.ana.co.jp)にてご照会ください。

*株主優待割引利用時のANAマイレージクラブにおける積算マイルは、区間マイルの75%となります。

*有効期間内は利用制限期間はありません。

●株主優待券・株主特別優待券 発行枚数表 (1枚未満の端数は切り捨て)

ご所有株式数		【発行基準日 3月31日】 株主優待券(5月下旬発送) 6/1～翌年5/31まで有効	【発行基準日 9月30日】 株主特別優待券(11月下旬発送) 12/1～翌年5/31まで有効
1,000株～	1,999株	1枚	1枚
2,000株～	2,999株	2枚	2枚
3,000株～	3,999株	3枚	3枚
4,000株～	9,999株	4枚 + 4,000株超過分 2,000株毎に1枚	4枚 + 4,000株超過分 2,000株毎に1枚
10,000株～	999,999株	7枚 + 10,000株超過分 4,000株毎に1枚	7枚 + 10,000株超過分 4,000株毎に1枚
1,000,000株～		254枚 + 1,000,000株超過分 8,000株毎に1枚	254枚 + 1,000,000株超過分 8,000株毎に1枚

ANAグループ優待券

3月31日・9月30日で1,000株以上ご所有の株主様へおひとり様1冊発行いたします。

国内ANA HOTELSのご優待

- ・ANA HOTELS宿泊(30%割引券)3枚
- ・日曜・月曜宿泊(50%割引券)3枚
- ・成田全日空ホテル宿泊(50%割引券)2枚 ほか
- ・レストラン・バー飲食(10%割引券)5枚
- ・ご婚礼優待 一部適用対象外のホテルあり

お知らせ

*久米島イーブービーチホテルは2006年7月20日をもってANAホテルズより離脱。

*沖縄ロイヤルビューホテルは2006年9月30日をもってANAホテルズより離脱予定。

両ホテルとも株主様へのご優待については、2006年11月30日まで継続いたします。

ご予約・問い合わせは直接ホテルへお願いいたします。

国内・海外パッケージツアー商品のご優待

- ・ANAスカイホリデー(国内)商品(7%割引券)2枚
- ・ANAハローツアー(海外)商品(7%割引券)2枚

全日空商事お買い物ご優待

- ・空港売店(10%割引券)5枚
- ・通信販売カタログ商品(7%割引券)5枚

「武蔵の杜カントリークラブ」ゴルフプレー料金のご優待

- ・一般ピンター料金割引券 4枚

〒350-0407 埼玉県入間郡越生町上谷1028

☎049-292-6311

http://www.mm-cc.co.jp



ANA株主優待 Q&A

Q. 「株主優待券」と「株主特別優待券」の違いは何ですか？

A. 発行枚数、使用方法は同じですが、有効期間の設定の違いで、名称を区別させていただいております。

Q. 優待券は株主の家族や知人でも使うことはできますか？

A. 優待券は無記名式ですので、株主以外の方でもご利用になれます。

Q. 優待券利用者に座席数等の制限はあるのですか？

A. 座席数の制限や予約受付期間等の制限はありません。
ご搭乗予定日が間際でも、座席が空いている限りご利用になれます。

Q. 優待券はゴールデンウィーク・夏休み・年末年始でも使えますか？

A. 空席があれば、有効期間内はいつでもご利用になれます。

Q. 優待券は国際線に使えますか？

A. 残念ながら国際線ではご利用になれません。海外旅行でのご利用はANAグループ優待券のANAハローツアー(海外)ご優待で、通常旅行代金の7%割引でご利用になれます。旅行商品の優待券は1枚で5名様までご利用になれます。

ANAインターネットホームページ

国内線、国際線のご予約、運航案内、発着案内、ANAからのお知らせ、キャンペーン最新情報などを掲載

ANA SKY WEB
www.ana.co.jp

投資家情報もホームページでご覧になれます！

ANA SKY WEB

投資家情報 www.ana.co.jp/ir



国内線 ANA国内線予約・案内センター

☎0120-029-222 24時間年中無休

有料 0570-029-222 (携帯電話の場合)

東京 ☎03-6741-8800 大阪 ☎06-7637-8800

札幌 ☎011-726-8800 名古屋 ☎052-962-6211

福岡 ☎092-752-8800 沖縄(那覇) ☎098-861-8800

22:00～6:30および電話が込み合っている場合はナビゲーション音声自動応答システムでご案内いたします。

国際線 ANA国際線予約・案内センター

☎0120-029-333 24時間年中無休

有料 0570-029-333 (携帯電話の場合)

ANAマイレージクラブご入会

☎0120-029-707 24時間年中無休

有料 03-6218-0392

おからだの不自由なお客様のためのご相談窓口

ANAスカイアシストデスク ☎0120-029-377

FAX ☎0120-029-366 9:00～17:00 年中無休

サービスについてのご意見・ご要望窓口

ANAカスタマーデスク ☎0120-029-787 9:00～17:00 土日祝

ANA HOTELS(国内)のご案内

☎0120-029-501 9:00～17:00 土日祝

www.anahotels.com/ir/

ANAハローツアーのご予約・ご案内

ANAハローツアー 株主優待デスク

中国方面 ☎0120-747-073 ☎03-6251-8678 9:30～18:30 平日・土日祝

それ以外の方面 ☎0120-747-860 ☎03-6251-8644 9:30～17:30

ハローお出かけダイヤル

0570-025860 市内通話料金だけでご利用になれます。 9:30～18:30 平日・土日祝

☎03-6251-8688

ANA旅行総合サイト「A TOUR」 www.atour.co.jp

ANAスカイホリデーのご予約・ご案内

ANAスカイホリデー予約センター

東京 ☎03-6251-8600 大阪 ☎06-6375-8600

名古屋 ☎052-972-8600 札幌 ☎011-222-8600

広島 ☎082-511-8600 仙台 ☎022-263-8600

沖縄(那覇) ☎098-862-8600 福岡 ☎092-720-8600

地区により営業時間は異なります。

ANA旅行総合サイト「A TOUR」 www.atour.co.jp

通信販売のお申し込み・お問い合わせ

全日空商事 ANA SKY SHOPコールセンター

☎0120-283-250 ☎03-3769-2876 9:00～19:00 平日・土日祝

株主メモ

- 事業年度……………毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会……………毎年4月1日から3か月以内に開催
- 基準日……………定時株主総会権利行使確定日　3月31日
 期末配当金受領確定日　　　3月31日
 中間配当金制度は採用しておりません。
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
 株主優待券割当確定日　毎年3月31日及び9月30日
- 単元株式数……………1,000株
- 株主名簿管理人……………住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱所……………東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
 住友信託銀行株式会社　証券代行部
- 郵便物送付先……………〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10
- 電話照会先(通話料無料)・〔住所変更等用紙のご請求〕 ☎0120-175-417(24時間自動音声対応)
 〔その他のご照会〕 ☎0120-176-417(平日9:00～17:00)
 お届印の変更、名義書換、配当金など、その他株式に関するお問い合わせも、
 上記の〔その他のご照会〕住友信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。
- ホームページ……………<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同取次所……………住友信託銀行株式会社全国本支店、大和証券株式会社全国本支店、
 日本証券代行株式会社全国本支店
- 名義書換手数料……………無料
- 公告の方法……………当社のホームページに掲載します。 <http://www.ana.co.jp/ir>
 ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。
- 上場証券取引所……………東京証券取引所、大阪証券取引所、ロンドン証券取引所
- 証券コード……………9202

株主インフォメーション

- **株主特別優待券・ANAグループ優待券**:9月末1,000株以上の株主様に11月下旬頃発送予定です。
- **2007年版ANAカレンダー**:9月末1,000株以上の株主様に11月下旬頃より順次『冊子小包』にて発送予定です。
- **第57期中間報告書(2006年4月1日～2006年9月30日)**:9月末現在の全株主様に12月初旬頃に発送予定です。
- **単元未満株式買取・買増請求**:お手続きの詳細は、弊社ホームページに掲載しておりますのでご利用ください。
投資家情報(<http://www.ana.co.jp/ir>)株式情報 各種手続きのご案内 単元未満株式
買増請求は2006年9月13日～2006年9月30日については受付停止期間となっておりますのでご注意ください。

上記発送物は株主様のご登録住所に発送いたします。お引越しや住居表示(町名や番地など)が変更された場合にはお手続きが必要となりますので上記住友信託銀行株式会社証券代行部までご連絡ください。お手続きの用紙をお送りいたします。ご連絡をいただきませんと、優待券などの大切な送付物が届けできなくなりますのでお早めにお手続きください。

尚、「証券保管振替制度」をご利用の場合は、住所変更、買取・買増請求ともにご預託の証券会社へご連絡願います。

全日本空輸株式会社

〒105-7133 東京都港区東新橋一丁目5番2号

総務部 株式担当 ☎03-6735-1001 (受付時間 平日9:00～12:00 / 13:00～17:25 但し金曜日は17:20迄 / 土・日・祝休)

ホームページ <http://www.ana.co.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています